

新潟市農業活性化研究センター試験成績書(平成25年度)

課題名	シンテッポウユリの新品種育成(栄養繁殖系)		
目的	現在栽培されている「ホワイト阿賀」に代わり、銘産品としてのブランド力を強化し、収益性の向上が見込める新品種を育成する。		
目標とする成果	「ホワイト阿賀」に続く新品種を育成し、早生～晩生まで長期継続出荷を可能とすることにより、収益性の向上を図る。		
実施期間	平成25年～平成30年	該当地区	江南区, 東区
依頼/協力	協力: JA新潟市ホワイト阿賀生産推進委員会		
試験実施場所	農業活性化研究センター露地圃場	担当者	川田 学, 山口 次郎
これまでの経過	継続		

1 試験方法

(1) 供試系統

- ア 一次選抜: 2012年交配実生を播種したもの
- イ 二次選抜: 2011年以前選抜系統をリン片で栽培したもの(参考: 球根)

(2) 選抜方法

- ア 一次選抜: 開花株のうち早晩生, 草勢, 草姿(上向き), 耐病性から優良な形質を持った系統を選抜する。
- イ 二次選抜: 選抜した系統の形質について調査し育種目標に見合う優良系統を選抜する。

(3) 調査項目

花丈, 葉形, 耐病性, 輪数, 開花期など

2 結果と考察

(1) 結果の概要

- ア 一次選抜では開花株の中から13系統を選抜した(表1)。
- イ 二次選抜では16系統を選抜した(表2)。

(2) 考察

本年は造成客土後, 初めての栽培となり水はけが悪い, 地力が無い条件のなかの栽培・選抜となった。多湿条件下でも生育の良い系統が選抜ができたと考えられる。

(3) 今後の問題点と次年度以降の計画

1次選抜系統については, 次年度球根養成を行った後, リン片栽培での特性検定を継続する。
2次選抜系統については土質の異なる砂土の露地圃場でリン片栽培を行い特性検定を継続する。
また, 2次選抜系統については中間母本として利用する。

(4) 成果の活用

二次選抜系統について, ホワイト阿賀生産推進委員会の生産者からも見てもらいながら選抜を行い, 次年度以降, 無加温ハウスで栽培した場合の特性調査を行うとともに, 試作品種の現地実証を行う。

3 具体的データ

- ア 表1 一次選抜(種子)
- イ 表2 二次選抜(リン片: 球根)

表1 一次選抜(種子)

No.	系統 番号	開花期				耐病性 ○△×	蕾の 向き 上中下	輪数 F	花丈 cm	葉の 形 丸・剣	総合 評価 ○×	備 考 形質・評価は 本年リン片のもの
		種子時 一次選抜	りん片時 前年	りん片時 本年	参考・球根 本年							
1	12-02 ①	7月31日				○	上中	3F	110	丸剣	○	
2	12-02 ②	8月6日				○	上	2F	80	丸剣	○	
3	12-04 ①	7月24日				○	上中	2F	80	剣	○	花径 大輪
4	12-04 ②	8月6日				○	上中	2F	100	丸剣	○	
5	12-04 ③	8月11日				○	上	3F	110	丸剣	○	花形 良
6	12-04 ④	8月11日				○	上	2F	80	剣	○	
7	12-04 ⑤	8月21日				○	上中	3F	100	丸	○	花径 小輪
8	12-05 ①	7月20日				○	上中	2F	70	剣	○	花径 中輪
9	12-05 ②	8月6日				○	中	3F	120	丸剣	○	孫花有
10	12-05 ③	8月6日				△	上	3F	100	丸剣	○	花形 良
11	12-05 ④	8月11日				○	中	3F	110	丸剣	○	
12	12-06 ①	8月16日				○	上中	4F	105	丸	○	
13	12-08 ①	8月31日				○	上中	4F	135	丸剣	○	花形 良

2次選抜 注目株



